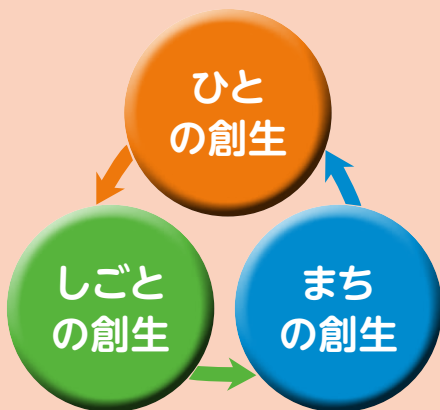


【交付対象事業名称】赤磐市総合戦略策定事業

赤磐市まち・ひと・しごと創生 総合戦略・人口ビジョン

～子育てするならあかいわ市～
(概要版)



重点戦略Ⅰ

安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る

重点戦略Ⅱ

経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る

重点戦略Ⅲ

多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る



赤磐市を“暮らしの場”、“働く場”、“生活を楽しむ場”そして何より“子育てをする場”として魅力的なまちにすることで、住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいと思われ選ばれるまちを実現します。

平成27年度から平成31年度までの
5年間の戦略です

赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略I < 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る

- 安定的で良質な雇用の確保により、若者が経済的に安定し、安心して家庭を築くことのできる環境を創出します。
- 『“赤磐市の未来を担う宝”である地域の子どもは、地域で守り育てる』という共通認識を持って、出産・子育てにやさしい地域ぐるみの子育て支援を行います。
- 子どもが豊かな心とたくましく生きる力を健やかに育て、未来に向かって限りない可能性を切り開いていける教育環境を整えます。

重要業績評価指標（KPI）

合計特殊出生率	婚活支援による成婚組数 (H27年度～H31年度の累計)	「子育て支援のための総合窓口」の 設置	「授業の内容がよくわかる」 と答える児童・生徒の割合
1.58	30組	3箇所	80.0%
認定こども園の数	有効求人倍率(管内H31年度平均)	家庭教育講座参加者（年間）	全国学力調査の結果
1箇所	1.13	1000人	全国平均レベル

1. 安心して家庭を築ける環境創出プログラム

若者の経済的安定

- 若者に「魅力的で安定的な収入が見込める地元雇用」を確保するほか、若者の正規雇用化を促進し、安心して家庭を築ける環境を創出します。

【主な取組】

- ▶ 市内企業連携推進(市内企業の活性化、採用枠拡大の働きかけ等)
- ▶ 企業立地支援事業(企業誘致奨励金、雇用促進奨励金等)
- ▶ 赤磐市産業支援センター(仮称)の設立

多様な働き方の提案

- クラウドソーシング(在宅・遠隔就労)やパート等、結婚・子育てをする女性等の希望に応じたフルタイム労働以外の多様で魅力的な就業の機会を創出し、経済的に安定して子どもを産み育てていける環境を整えます。

【主な取組】

- ▶ クラウドソーシング(ICTを活用した在宅・遠隔就労)の普及拡大



結婚に結びつく支援の推進

- 結婚に結びつく出会いの場の提供等、「素敵な相手にめぐり合う」ための支援を積極的に進めます。

【主な取組】

- ▶ あかいわに戻ろうプロジェクト(同郷出身者等のネットワーク構築、婚活イベント等の開催、各種情報の発信、結婚祝い金制度等)



世帯のニーズに対応した住宅助成の充実

- 結婚する(した)若者が安心して市内に居住できるよう、アパート等の賃貸住宅の家賃や住宅の購入等に係る助成制度の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶ あかいわに戻ろうプロジェクト(新婚世帯の家賃助成)
- ▶ 定住促進奨励金(市分譲宅地の購入費用助成)
- ▶ 移住・定住推進事業(空き家の改修費用補助)

2. 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム

子育てサービス・保育サービスの充実

- 子育て支援センター等を拠点にサービス体制を強化し、市内のどこに住んでいても身近な場所で子育て支援が受けられる体制の充実を図るほか、延長保育・休日保育の検討や認定こども園の整備等、保育サービスの充実を図ります。

【主な取組】

- ▶子育て世代包括支援センターの設立(妊娠期から就学までの総合的な支援)
- ▶多子世帯(第3子以降)保育料無償化
- ▶育休中親子への柔軟な保育対応
- ▶延長保育、休日保育、一時預かり等の充実
- ▶認定こども園の整備

地域ぐるみの子育て支援

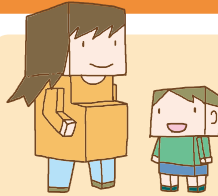
- 親だけが育児を抱え込むことのないよう、育児不安・育児負担への支援や母子保健活動、親子と地域の交流促進等、地域ぐるみで子どもを守り育てる環境の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
- ▶地域子育て支援拠点事業
- ▶子育て支援事業(子育てサロン、親子交流会等)
- ▶ファミリー・サポート・センター事業
- ▶幼児クラブ活動支援
- ▶放課後児童健全育成事業

子どものけが、病気等への対応

- 子どもの夜間・休日等のけがや急病に対して、適切な対応や治療が行える体制の充実を図ります。



【主な取組】

- ▶子ども医療費給付事業(高校生まで対象を拡大)
- ▶24時間電話健康相談事業
- ▶県南東部圏域二次救急体制整備事業

3. 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム

学習環境の整備

- 学習支援員や外国語指導助手等の配置により、子どもの学力・学習状況に応じた指導環境や、異文化理解・コミュニケーション能力の育成を図ることのできる学習環境を整えます。

【主な取組】

- ▶学習支援員、学校教育指導員、外国語指導助手等の配置
- ▶遠距離通学支援(スクールバス運行、通学費補助)
- ▶学校施設耐震補強事業

家庭・地域社会の教育力の充実

- 支援が届きにくい家庭への教育支援や相談活動を行うほか、放課後の学習補助や見守り等を行う地域活動等、地域ぐるみで子どもを育てる環境の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶家庭教育講座(就学前・思春期子育て講座等)
- ▶学校支援地域本部事業(放課後学習補助・見守り等を行う地域活動)
- ▶放課後子ども教室推進事業
- ▶ヤング(中学生)ボランティア養成事業

確かな学力の定着に向けた教育の充実

- 教師の指導力向上を図り、落ち着いた学習環境づくり、基礎基本の徹底等、「わかる授業」の実践を進めます。また、産官学の連携により、小学校でタブレットやマイクロステップドリルを活用した基礎基本の徹底を図る等、特色のある教育に取り組みます。

【主な取組】

- ▶産官学連携協力事業(大学・企業が開発した学習補助教材の活用)
- ▶家庭の学習環境づくり
- ▶教育用コンピュータ・ICT機器の整備

心身ともに健康な幼児、児童、生徒の育成

- 保育園、幼稚園、小学校、中学校の連携を促進して子どもの自己肯定感を育成する取組を進めるとともに、よりよい生活習慣が身に付くよう、相談・サポート活動を促進します。

【主な取組】

- ▶赤磐市不登校対策アクションプラン(学校相談員・不登校相談支援員の配置、適応指導教室の運営等)
- ▶青少年健全育成事業

赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る

- 幅広い支援による地域の商・工・観光産業の活性化や、広域交通の利便性等を活かした企業立地の促進を図り、地域に安定的で良質な雇用を確保します。
- 若者世代の転出を食い止め、また新たな転入を図り、定住人口と交流人口の増加による賑わいと活気があるまちを創出します。
- 経営感覚を持った農業経営者の確保・育成や農産物の地域ブランド化等に取り組み、『農業』を『若い世代の安定的な雇用を創出するしごと』に育成します。

重要業績評価指標 (KPI)

新たな企業用地の確保	新規立地企業の雇用創出数 (H27年度~H31年度の累計)	年間製造品出荷額	新規就農者数 (H27年度~H31年度の累計)	6次産業事業認定団体数
10ha	500人	100,538百万円	60人	5団体
新規企業立地件数	創業者数 (H27年度~H31年度の累計)	観光入込客数(年間)	GAP認証等の取得団体数	学校給食における 地場食材利用率
5件	75人	530,000人	3団体	59.3%

1. 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム

新たな企業用地の確保

- 企業立地に適したエリアの選定や新たな企業用地の確保・整備を推進し、新たな企業の立地を受け入れることのできる環境を整えることで、企業誘致の促進を図ります。

【主な取組】

- ▶ 工業団地造成事業

規制の見直しによる企業誘致の促進

- 都市計画区域内の区域区分等の土地利用規制を見直す等、企業や生活利便施設等の立地が進む市街地の形成を図ります。

【主な取組】

- ▶ 経済・産業活性化事業(新都市拠点整備構想、経済・産業活性化エリアの検討・整備等)
- ▶ 都市拠点整備事業

地域の若者の定着、Uターン就職の推進

- 若者にとって魅力的で良質な雇用の場の確保を進めるとともに、市内企業、ハローワーク等と連携して就職説明会を開催する等、市内企業の魅力や求人情報をPRし、若者の地元就職やUターンによる就業促進を図ります。また、ICT等を活用して雇用や移住等に関する情報を発信するほか、赤磐市出身者等によるネットワークを組織して交流を促進する等、Uターンのきっかけづくりを行います。

【主な取組】

- ▶ あかいわに帰ろうプロジェクト(同郷出身者等のネットワーク構築、就職説明会の開催、帰省費用の一部助成、市内企業が都市圏の就職説明会に出展する費用の一部助成、各種情報の発信等)
- ▶ 経済・産業活性化事業(新都市拠点整備構想、経済・産業活性化エリアの検討・整備等)
- ▶ 都市拠点整備事業

魅力的な企業の誘致促進

- 地域産業の活性化につながる企業、雇用確保が期待できる企業、赤磐市への誘客が期待できる商業施設等、魅力的で優良な企業を積極的に誘致し、安定的で良質な地元雇用を確保します。

【主な取組】

- ▶ トップセールスによる企業誘致活動
- ▶ HP等のICT活用や企業訪問活動による誘致活動
- ▶ 企業誘致アドバイザーの設置・活用
- ▶ 企業立地支援事業(企業誘致奨励金等の活用)
- ▶ 新規立地企業の人材確保支援
- ▶ 県企業立地セミナーの活用

2. 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム

交流・連携等による地域産業の活性化

- 企業、金融機関、商工会、大学、研究機関等との交流・連携により、市内企業の技術開発、商品開発、ブランド化、海外市場への展開、人材育成等を支援します。

【主な取組】

- ▶ 産業振興人材の育成
- ▶ 赤磐市産業支援センター（仮称）の設立
- ▶ 市内企業の連携推進（連絡会の実施等）

創業のための包括的支援

- 創業しやすい環境づくりや創業までの各段階に応じた適切な支援により、意欲ある若者や女性の創業を積極的に支援します。

【主な取組】

- ▶ あかいわ創業塾事業
（創業支援ネットワークの強化による創業しやすい環境づくり、創業支援窓口の充実による相談対応、創業塾の開催による経営ノウハウの習得支援等）

シティプロモーションの推進

- 国内外からの観光客や移住定住の増加を図るため、赤磐市の魅力を広くPRするシティプロモーション活動の充実強化に取り組みます。

【主な取組】

- ▶ シティプロモーション事業（赤磐市広報大使やマスコットキャラクターを活用したPR活動、映画「種まく旅人～夢のつぎ木～」等地域資源を活用したPR活動等）
- ▶ オールあかいわ宣伝隊事業（市内外に向けた特産品等のPR活動）



周遊・滞在できる観光ルートの形成

- 魅力と特色のある観光資源を掘り起こし、磨き上げることにより、周遊・滞在できる観光ルートを形成します。

3. 強い農業の確立プログラム

経営感覚を持った農業経営者の育成

- 経営資産導入、生産技術習得等の総合的な支援を行い、青年や帰農者等の就農促進を図ります。また、農業経営の発展段階に応じたきめ細やかな支援により地域農業の中核者を育成するとともに、集落営農・法人化を促進し、経営規模拡大等による農業の生産性の向上を図ります。

【主な取組】

- ▶ 新規就農者支援（就業奨励金、親元就農支援、農大生奨学金、農地・住居の確保支援等）
- ▶ 農業経営塾事業（栽培技術・農業経営等の研修体制の整備）
- ▶ 集落営農組織化・法人化の推進
- ▶ 担い手への農地集積

6次産業化・次世代農業の推進

- 地域の力で生産から販売までを行う6次産業化への取組を推進するほか、次世代施設園芸の展開やスマート農業の導入促進、飼料用米生産の取組等を進めます。また、地元農産物による地産地消を推進します。

【主な取組】

- ▶ 学校給食地場食材利用拡大事業（地産地消）
- ▶ 生産組織育成事業
- ▶ 次世代施設園芸の導入
- ▶ IT活用による省力化の推進

農産物の高付加価値化・地域ブランド化の推進

- 地域農産物の品質向上・高付加価値化を図り、消費者が信頼できる安全安心な地域ブランドを育成します。また、海外も視野に入れた新たな市場開拓、販路拡大を促進します。

【主な取組】

- ▶ GAP認証の取得支援、食味分析、地理的表示等の取組による地域農産物の高付加価値化推進
- ▶ 共選、糖度センサー、農薬管理等による高い品質の確保
- ▶ 次世代フルーツ生産団地強化事業（新技術の研究への支援）
- ▶ 戦略的な新品種導入、気象・土壌条件を踏まえた園地の有効利用・拡大による安定的な出荷体制の確立



赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略Ⅲ < 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る

- 赤磐市に住んでいない人には『住んでみたい』と思われ、赤磐市で生活している市民には『住み続けたい』と思われ、『選ばれるまち赤磐市』の実現を目指します。
- だれもが住み慣れた地域で快適に住み続けられるよう、人と人のつながりにより支えあうことのできる地域を創ります。
- 高齢者が地域の支え手となって活躍できる場を整え、高齢者の生きがいづくりを図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

空き家情報バンク成約物件数 (H31年度末時点の累計)	新たに転入した世帯数 (H27年度~H31年度までの累計)	地域支えあいのための 取組を行う新たな組織の数	要支援や要介護を必要としない 高齢者の割合
20件	3,200世帯	10組織	84.0%
おためし住宅利用世帯数	市街化区域内の未利用地の解消 (H31年度末未利用地)	「おかやま元気! 集落」 への登録集落数	シルバー人材センター会員数
6件	2.0ha	3箇所	430人

1. 移住・定住が進むまち創出プログラム

赤磐市の魅力発信の推進

- 移住を検討している人に赤磐市を知ってもらい、移住先の候補として興味を持ってもらうため、赤磐市の魅力を広く情報発信していきます。

【主な取組】

- ▶ 移住・定住推進事業(移住相談会への参加等)
- ▶ シティプロモーション事業(赤磐市の魅力発掘・情報発信、赤磐市広報大使やマスコットキャラクターを活用したPR活動等)
- ▶ あかいわに帰ろうプロジェクト(同郷出身者等のネットワーク構築、情報発信等)

移住・定住を支援する体制の充実

- 移住希望者の相談にワンストップで対応できる『総合的な移住・定住相談窓口』体制を整備し、移住希望者の不安や懸念の解消を図ります。また、移住費用軽減施策の充実を図るほか、移住後の相談やフォローアップ体制を整備することで、安心して暮らすことのできる環境づくりを図ります。

【主な取組】

- ▶ 移住・定住推進事業(総合的な移住・定住相談窓口による相談対応、おためし住宅の整備・活用、空き家情報バンクの充実、空き家の改修費用補助等)
- ▶ 定住促進奨励金(市分譲宅地の購入費用助成)

魅力的な中心市街地の形成



- 賑わいと活力のある魅力的な中心市街地の形成を図ることで、利便性が高く快適に過ごせる居住環境を創出し、移住・定住先に選ばれる赤磐市の実現を目指します。

【主な取組】

- ▶ 土地区画整理事業(市街化区域未利用地の宅地化等)
- ▶ 経済・産業活性化事業(新都市拠点整備構想、経済・産業活性化エリアの検討、整備等)

2. 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム

市民が主体のまちづくりの推進

- まちづくりを担う人材を確保し、市民主体による地域活動の活性化を図るとともに、市民や地域をはじめとした多様な主体が行政と協力し、地域課題の解決のために役割と責任を分担して協働する体制の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶協働のまちづくり推進事業(まちづくりサロンの開催、フォーラムの開催等)
- ▶市民活動実践モデル事業(市民提案型による協働事業)
- ▶自治振興事業(自治連合会、区長・町内会との連携)

公共交通機関の整備・確保と利用促進

- 市民に公共交通機関の利用促進を働き掛け、地域の公共交通網の確保を図ります。また、将来を見据えた公共交通体系のあり方等について、地域と行政が一緒になって検討を進めていきます。

【主な取組】

- ▶公共交通機関の確保・利用促進事業(生活交通対策事業、市民バス運行事業、広域路線バス運行事業等)



支えあいによる地域のつながり

- いろいろな世代の交流が実現した地域コミュニティの活性化を促進し、住民同士が支えあい・助け合うことのできる地域の形成を図ります。



【主な取組】

- ▶協働のまちづくり推進事業
- ▶愛育委員活動、栄養委員活動、民生委員児童委員活動
- ▶旧赤磐市民病院の活用(介護・福祉等の複合施設として活用するための基本構想等)

3. 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム

高齢者の就労支援と社会参加への支援

- 働く意欲を持った高齢者の就労機会の拡大を図るほか、文化活動や子育て支援等の地域活動への参加を促進し、高齢者がアクティブシニアとして生きがいを持って健やかに暮らせる環境を創出します。

【主な取組】

- ▶シルバー人材センター等との連携による就労支援
- ▶老人クラブ等との連携による地域活動の促進
- ▶生涯学習・生涯スポーツの推進



地域医療体制の整備

- どこに住んでいても適切な医療が受けられるよう、熊山診療所、佐伯北及び是里診療所を運営するとともに、赤磐医師会や市民と協力しながら地域医療体制の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶診療所運営事業
- ▶訪問看護ステーション運営事業(かかりつけ医との連携)
- ▶地域医療ミーティング推進事業(住民参加による地域医療体制の検討)

地域での支えあい

- 認知症や一人暮らしの高齢者の見守りを行うほか、後期高齢者の生活支援に高齢者が活躍できる環境づくり等、地域の住民同士が支えあうことのできるコミュニティづくりを推進します。また、一体的・総合的に高齢者の生活を支えることのできる地域包括ケア体制の充実を図ります。

【主な取組】

- ▶買い物支援見守り事業
- ▶赤磐地域見守りネットワーク事業(民間事業者による高齢者の見守り)
- ▶地域包括ケアシステム構築促進事業
- ▶認知症の見守り事業(支援ボランティア育成等)
- ▶介護予防生活支援事業

救急医療体制の充実強化

- 医療機関との連携を強化し、救急受入れ体制の充実を図ります。また、近隣市町等との連携を深め、救急患者、重篤患者が迅速に適切な治療を受けられるよう、広域的な救急医療体制の更なる充実を図ります。

【主な取組】

- ▶県南東部圏域二次救急体制整備事業(連携体制の強化)
- ▶救急救命士・救急隊員の資質向上(病院実習、受入検討会、研修会等)
- ▶救命処置ができる市民の養成

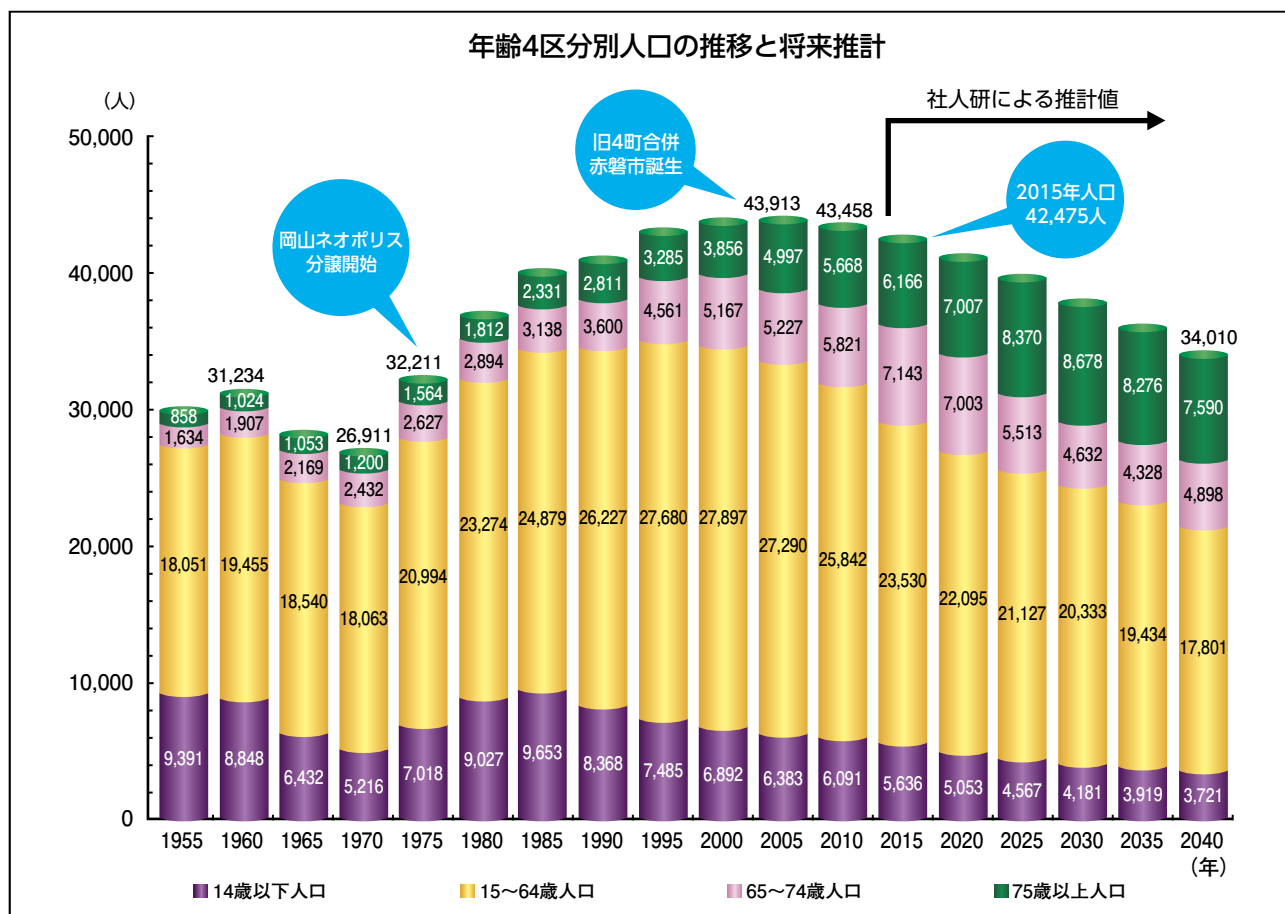
赤磐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

赤磐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンとは

- 赤磐市の人口の現状等を分析し、市が今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示したものです。
- この人口ビジョンの認識を市民が共有することで、「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による「人口減少問題に対応して持続的に発展するための取組」がより良く進むことを目的としています。

赤磐市の人口の現状分析

- I 何ら対策が講じられないままだと、少子高齢化を伴う人口減少は避けられません。
- II 人口が減少すると、地域の活力が低下し、産業・市民生活・行政運営に支障をきたします。



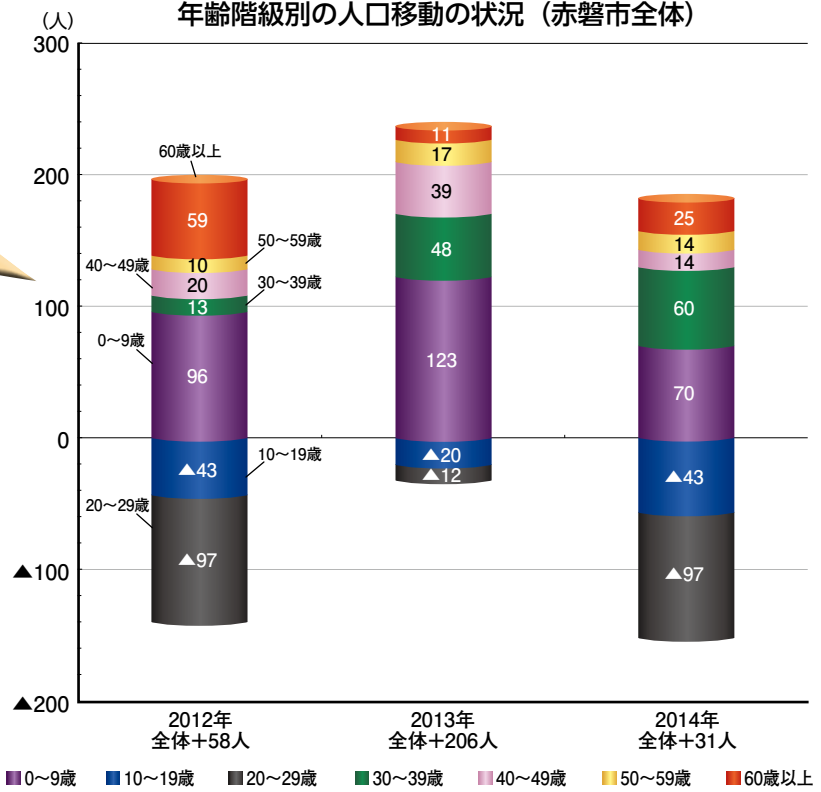
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

年齢4区分別人口の推移と将来推計

- 赤磐市の人口は、大型住宅団地の分譲以降増加を続けてきました。
- 平成17年(2005年)の43,913人をピークに減少に転じ、平成52年(2040年)には34,010人まで減少します。
- 65歳以上の人口比率は、平成22年(2010年)は26.4%ですが、平成52年(2040年)には36.7%になり、少子高齢化を伴う人口減少が進みます。

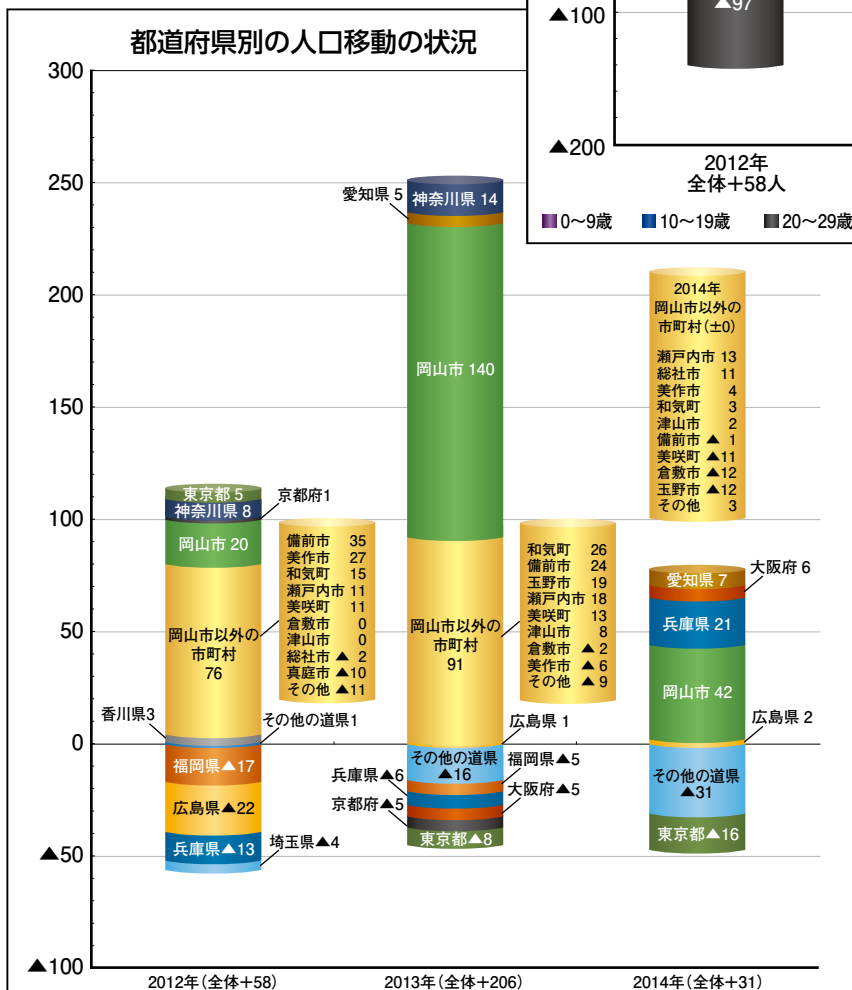
※市外で出産した子育て世帯が、その後子どもの就学を前に赤磐市を定住先として選択したケースが多いことが推察されます。

年齢階級別の人口移動の状況（赤磐市全体）



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

都道府県別の人口移動の状況



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

年齢階級別にみた人口移動

- 10~19歳及び20~29歳の若年層の転出超が顕著です。
- 30~39歳の転入が目立っています。
- 0~9歳の転入が目立っています。

転出先・転入元からみた人口移動

- 東京都、大阪府等、大都市圏への転出が多くなっています。
- 10~29歳の転出が多いこととあわせて考えると、大学や就職に伴う転出が多いと推察されます。
- 県内からの転入が多くを占めています。
- 30~39歳と0~9歳の転入が多いこととあわせて考えると、子育て世帯が大型住宅団地等でマイホームを購入し、赤磐市に移り住むケースが多いと推察されます。

目指すべき将来の方向

今後、赤磐市が人口減少問題に対応して持続的に発展できるよう、市が目指すべき将来の方向性を示しました。

- 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現します。
- 市内での就職や市内への移住・定住がかなう、安心して住み続けられる赤磐市にします。
- 将来的に人口減少が見込まれる地域にあっても、拠点的地域において生活機能を確保し、地域活力を維持します。

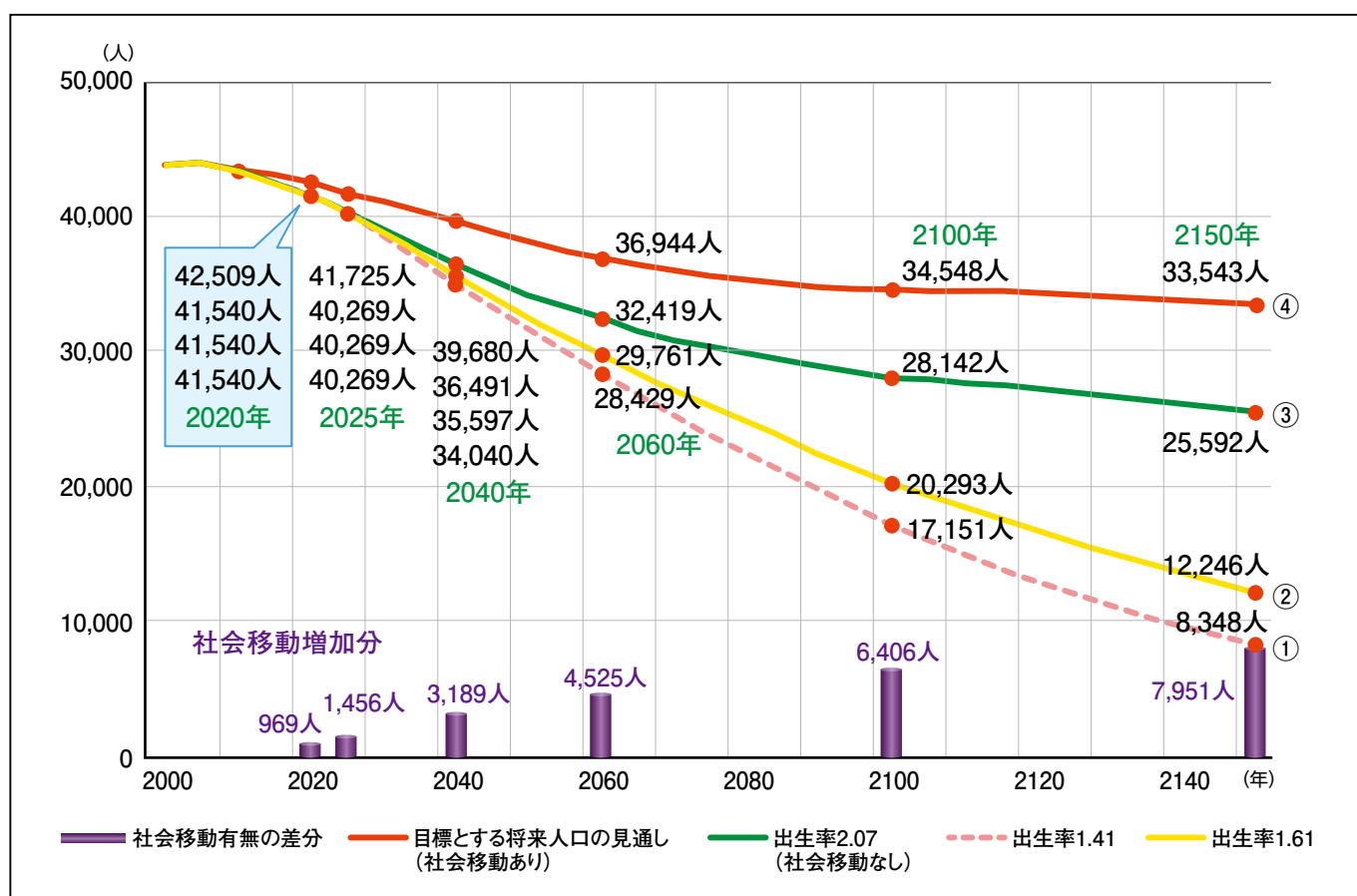
赤磐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

赤磐市が目指す将来の人口

長期的に30,000人程度を維持して
安定的に推移する将来人口を目指します。

※『赤磐市の将来人口のシミュレーション』の【パターン④】

赤磐市の将来人口のシミュレーション



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)、岡山県人口ビジョン、赤磐市資料


パターン	内 容
【パターン①】 桃色のグラフ	『2025年に合計特殊出生率目標1.61(第2次赤磐市総合計画の目標)』を達成した後、『合計特殊出生率1.41(社人研による2040年の推計)』まで落ち込み、『2040年以降も1.41を維持』する場合
【パターン②】 黄色のグラフ	『2025年に合計特殊出生率目標1.61(第2次赤磐市総合計画の目標)』を達成し、『その後も1.61を維持』する場合
【パターン③】 緑色のグラフ	『2025年に合計特殊出生率目標1.61(第2次赤磐市総合計画の目標)』を達成し、その後は「岡山県人口ビジョン」と同様に『2030年に1.80』、『2040年に2.07』に回復し、かつ純移動率が2020年以降均衡(社会増減±0)すると仮定した場合
【パターン④】 赤色のグラフ	合計特殊出生率をパターン③とし、かつ社会増により長期的に30,000人程度の人口を維持して安定的に推移する場合

重点施策、重要業績評価指標(KPI)一覧

重点戦略	戦略プログラム	重点施策	重要業績評価指標(KPI)
①安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る	1. 安心して家庭を築ける環境創出プログラム	(1)若者の経済的安定 (2)多様な働き方の提案 (3)世帯のニーズに対応した住宅助成の充実 (4)結婚に結びつく支援の推進	・有効求人倍率(和気公共職業安定所管内年間平均) 1.13 ※H26年度津山管内の数値(和気の一つ上の順位)を目指す ・婚活支援による成婚組数(5年間累計) 30組 ・婚姻件数(年間) 200件
	2. 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム	(1)出産・子育ての不安に対する情報・サービスの提供体制の整備 (2)子どものけが、病気等への対応 (3)子育てサービス・保育サービスの充実 (4)地域ぐるみの子育て支援(地域の子は地域で育てる) (5)仕事と子育ての両立の支援	・「子育て支援のための総合窓口」の設置 3箇所 ・認定こども園の数 1箇所 ・乳児健診受診率 95.0% ・合計特殊出生率(H29岡山県衛生統計年報) 1.58
	3. 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム	(1)学習環境の整備 (2)確かな学力の定着に向けた教育の充実 (3)郷土の魅力を認識できる教育活動の推進 (4)心身ともに健康な幼児、児童、生徒の育成 (5)家庭・地域社会の教育力の充実 (6)幼稚園教育の充実 (7)保幼小中連携の推進	・「授業の内容がよくわかる」と答える児童・生徒の割合(全国学力調査小・中学校全教科の平均値) 80.0% ・全国学力調査の結果(全国平均正答率との差) 全国平均レベル ※H26年度:全国平均よりマイナス2.8ポイント ・学校非構造部材耐震化率 100% ・学校無線LAN整備率 100% ・家庭教育講座参加者(年間) 1,000人 ・ヤングボランティア養成事業参加者数(累計) 100人
②経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る	1. 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム	(1)新たな企業用地の確保 (2)規制の見直しによる企業誘致の促進 (3)積極的な企業誘致の展開 (4)魅力的な企業の誘致促進 (5)新規立地企業の人材確保支援 (6)地域の若者の定着、UIターン就職の推進 (7)優れた創業環境の情報発信 (8)広域交通網基盤の整備促進 (9)誘致した企業への支援	・新たな企業用地の確保 10ha ・新規企業立地件数 5件 ・新規立地企業の雇用創出数(累計) 500人 ・年間製造品出荷額 100,538百万円 ※県内市12位から11位を目指す
	2. 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム	(1)産業振興人材の育成 (2)交流・連携等による地域産業の活性化 (3)創業のための包括的支援 (4)周遊・滞在ができる観光ルートの形成 (5)シティプロモーションの推進 (6)観光受入体制の整備	・創業者数(累計) 75人 ・年間商品販売額 35,123百万円 ※県内市13位から12位を目指す ・年間観光入込客数 530,000人
	3. 強い農業の確立プログラム	(1)経営感覚を持った農業経営者の育成 (2)農産物の高付加価値化・地域ブランド化の推進 (3)6次産業化・次世代農業の推進 (4)担い手への農地集積と生産基盤の整備 (5)多面的機能の発揮	・新規就農者数(累計) 60人 ・GAP認証等の取得数 3団体 ※雄町米、誉乃AKASAKA、黄ニラ等 ・6次産業事業認定数(H31年度末時点) 5団体 ※平成26年度末時点 2団体 ・学校給食における地場食材利用率 59.3%
③多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る	1. 移住・定住が進むまち創出プログラム	(1)赤磐市の魅力発信の推進 (2)移住・定住を支援する体制の充実 (3)移住費用軽減施策の充実 (4)移住・定住がかなう働く場の確保 (5)魅力的な中心市街地の形成 (6)移住希望者の大型住宅団地への受入促進	・空き家情報バンク成約物件数(累計) 20件 ※H26年度末時点8件 ・おためし住宅利用世帯数 6件 ・新たに転入した世帯数(累計) 3,200世帯 ・市街化区域内の未利用地の解消 未利用地2.0ha ※H26年度末未利用地 6.3 ha
	2. 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム	(1)市民が主体のまちづくりの推進 (2)支えあいによる地域のつながり (3)公共交通機関の整備・確保と利用促進 (4)男女共同参画社会の形成 (5)安心して利用できる道路等の整備	・地域支えあいのための取組を行う新たな組織の数 10組織 ・「おかやま元気!集落」への登録集落数 3箇所
	3. 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム	(1)高齢者の就労支援と社会参加への支援 (2)生涯を通して健やかに暮らせる生活の質の向上推進 (3)地域での支えあい (4)地域医療体制の整備 (5)救急医療体制の充実強化	・シルバー人材センター会員数 430人 ※H26年度末時点365人 ・特定健診実施率(法定報告値) 23.0% ・要支援や要介護を必要としない高齢者の割合 84.0% ・買い物空白地域における買い物支援サービスカバー率 100% ・認知症サポーター養成数(累計) 4,000人 ※H26年度末時点 1,327人




おかえり
あかいわ.com



okaeri-akaiwa.com おかえり あかいわ 検索

「あかいわに戻ろうプロジェクト」



紙面のキャラクターは、あかいわに戻ろうプロジェクトのオリジナルキャラクターです。 ©赤磐市
あかいわモモちゃん(おかえりあかいわVer.)

赤磐市総合政策部まち・ひと・しごと創生課

〒709-0898 岡山県赤磐市下市344

TEL (086)955-1220

FAX (086)955-1261

ホームページ <http://www.city.akaiwa.lg.jp/>

【交付対象事業名称】 オールあかいわ宣伝隊事業

「旬のあかいわ 白桃フェア」(JR岡山駅)



「旬のあかいわ 白桃フェア」(東京AS)



「旬のあかいわ 白桃フェア」(JR大阪駅)



「旬のあかいわ ぶどうフェア」(JR大阪駅)



「旬のあかいわ ぶどうフェア」(有楽町駅前広場)



平成27年度「オールあかいわ宣伝隊」反省点について

<アンケート集計結果より>

『旬のあかいわ白桃フェア』

【岡山会場】

男性	女性	未回答	計
394	599	7	1,000

- ・岡山県在住の方は74.6%であった。
- ・赤磐市を知っている方は76.3%であった。
- ・赤磐市を訪れたことが無い方は45.7%であった。
- ・赤磐市を訪れたことがある方の目的は果物の割合が26.8%と一番高く、次いで自然観賞、イベントの順となる。

【東京会場】

男性	女性	未回答	計
56	132	0	188

- ・関東在住の方は94.1%であった。
- ・赤磐市を知っている方は34.6%であった。
- ・赤磐市を訪れたことが無い方は86.2%であった。
- ・赤磐市を訪れたことがある方の目的は果物の割合が26.5%と一番高く、次いでイベントの順となる。

【大阪会場】

男性	女性	未回答	計
412	1,220	22	1,654

- ・関西在住の方は82.0%であった。
- ・赤磐市を知っている方は26.1%であった。
- ・赤磐市を訪れたことが無い方は88.4%であった。
- ・赤磐市を訪れたことがある方の目的は果物の割合が27.2%と一番高く、次いでグルメ、自然観賞の順となる。

『旬のあかいわぶどうフェア』

【大阪会場】

男性	女性	未回答	計
384	1,023	13	1,420

- ・関西在住の方は85.4%であった。
- ・赤磐市を知っている方は30.4%であった。
- ・赤磐市を訪れたことが無い方は82.6%であった。
- ・赤磐市を訪れたことがある方の目的は果物の割合が31.7%と一番高く、次いで自然観賞、グルメの順となる。

【東京会場】

男性	女性	未回答	計
555	1,441	12	2,008

- ・関東在住の方は92.0%であった。
- ・赤磐市を知っている方は17.4%であった。
- ・赤磐市を訪れたことが無い方は91.4%であった。
- ・赤磐市を訪れたことがある方の目的は果物の割合が36.5%と一番高く、次いでグルメ、史跡の順となる。

白桃やブドウ PR強化

赤磐の官民が「宣伝隊」結成

東京などでフェア 香港・見本市でも



「あかいわ宣伝隊」がPRする赤磐市特産の白桃

赤磐市、JA岡山東赤磐商工会、同市観光協会が「オールあかいわ宣伝隊」を結成し、

「とっとり・おかやま新橋館」、8月4、5日にJR大阪駅大阪ステーションシティで開く。潜水白桃の試食販売やシャインマスカット

地元農作物のPRを強化している。第1弾として7、8月に白桃の販売フェアを東京や大阪で開くほか、中国・香港で開催される食の見本市にも出展する。

桃やブドウなどの特産物を大都市に売り込み、地域農業の活性化、観光客や移住者誘致につなげる狙い。

白桃フェアは24、25日にJR岡山駅東口、28、29日に東京・新橋のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は香港での国際見本市「フード・エキスポ2015」に出展。白桃

食と農

をアピールするとともに、現地百貨店のバイヤーや食品業者と情報交換して市場ニーズをつかむ。

市商工観光課は「地元農家は高齢化や担い手に結びつけない」として、赤磐ブランドを全国に発信し、所得向上に結びつけたい」としている。(小原一穂)

認可便郵便物3



桃の試食でにぎわう赤磐市の専用ブース

香港で赤磐しっかりPR

香港でも15日に開かれた「香港見本市」で「ブロード・エキスポ」の「オーロ」赤磐市の特産品をPRした。「オーロ」赤磐市には長い列ができて、当地の関心は高く、メンバーは取扱店に入ったかきんぱく収束に努めた。(今井康人)

「ブロード・エキスポ」に特産品

白桃やブドウに反響

「ブロード・エキスポ」は香港、ドを世界に売り込み、地元農家の大規模の見本市で約30カ国・地域 所得向上を目指す」と同市産業振興から約100社・団体が出展。農部の中村豊孝政策監。現地百貨オールカウエイや百貨店、地産特産品のハイヤーや食品業者と活発に産品を世界に売り出して初めて 賞見を交わし、市場ニーズを探った。

赤磐市が設けた専用ブースには、特産品の白桃やシャインマスカットやブドウをはじめ、地元産として知られる「今後」や「シズン」の白桃、黒米の米袋を売用したオリジナルTシャツの企画、産の魅力を発信して紹介した。「カー4社の代表取締役を展示した。

市は今回の出展で先ず、面出 産振興委員の友美武則市長のメンバー入会などの法整備で、来場者で「オーロ」赤磐マン 方法を研究を進めたい。



「ブロード・エキスポ」は香港見本市「オーロ」赤磐市の特産品をPRした。赤磐市は「ブロード・エキスポ」に特産品をPRした。

【交付対象事業名称】協働のまちづくり推進事業

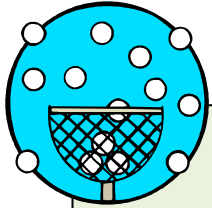
主催：赤磐市 運営：サンサンあかいわ「まちつく～る」会

やっぱり 赤磐 いいところ 赤磐の魅力 再発見

参加費
無料！

まちづくりサロン「まちつく～る」に参加して

みんなで「いいね！」を語り合おう



とき 平成27年9月6日(日)

13:30～16:30

ところ 中央図書館 多目的ホール



募集定員：30人

※赤磐市に在住・在勤。

※託児が必要な場合はご相談ください。

まちづくりサロン「まちつく～る」とは・・・？

みんなが集まって【自分たちのまちづくり】について

“楽しく語り合う場”です。



サンサンあかいわ「まちつく～る」会とは、協働のまちづくり塾3期OB生が中心となって組織した団体です。赤磐市をもっと楽しく、元気にしようと活動しています。

参加希望の方は 平成27年9月2日(水)までに

赤磐市役所 市民生活部 協働推進課

TEL 086-955-1745

FAX 086-955-1353

へお申し込みください。

(※但し、土・日は除きます。)

～平成27年度協働のまちづくりフォーラム～

チャレンジ! 私たちが参加してつくるあかいわ

私たちの暮らすまちを **こんなまちにしたい!**
ちいさな一歩がきっと大きな力になる……。まちづくりへの「チャレンジ!」を考えます。

日時 平成27年 **10月3日** **土**

13:30～15:30

場所 **赤磐市立中央公民館** 2階大集会室

(赤磐市下市337)

第1部 基調講演

演題：**みんなで取り組む!**
わたしたちのまちづくり

講師：**松下 啓一** さん (相模女子大学教授)

第2部 シンポジウム

私たちのチャレンジ

■コーディネーター **小川 孝雄** さん
(赤磐市協働のまちづくり事業検討委員会 委員長)

■パネリスト

- **笠倉 堯** さん (桜が丘西連合町内会 会長)
～桜が丘プラザを交流の拠点に～
- **歳森 正一** さん (まちづくり夢百笑運営協議会 会長)
～笑顔あふれるみんなのお店に～
- **鳥羽 美智代** さん (NPO法人岡山県自閉症児を育てる会 代表)
～ないものは作っていこう～

■アドバイザー **松下 啓一** さん

■オブザーバー **友實 武則** (赤磐市長)



【講師】

松下 啓一 さんプロフィール

パートナーシップ市民フォーラム
さがみはら顧問。26年間の横浜市
職員時代には、総務・環境・都市
計画・経済・水道などの各部局で
調査・企画を担当。市民と協働で
行ったリサイクル条例制定の経験
が、公共主体としてのNPOへの
関心につながる。

■入場無料

- 手話通訳があります。
- 託児を希望する場合は、
9月25日(金)までに
ご連絡ください。

【問い合わせ先】

赤磐市 市民生活部 協働推進課
TEL 086-955-1745 (直通)

公募型提案事業がスタートします！

「市民活動実践モデル事業」募集のお知らせ

募集期間：平成27年12月1日(火)～平成28年1月12日(火)

地域の活性化と協働のまちづくりを進めるため、「市民活動実践モデル事業」がスタートします。地域の課題解決につながる事業を「市と協働」で取り組むことで、より効果が上がる事業（市民提案型・行政提案型）を募集します。採用された事業は、平成28年度中に実施し、20万円を上限額として補助金を交付します。

この事業の募集にあたって、説明会を開催しますので、興味のある人・市民活動団体などの皆さん、ぜひご参加ください。

「市民活動実践モデル事業」 事業説明会を開催します！

【日時・会場】

第1回 11月 6日(金) 13:30～ 赤磐市役所 本庁 2階大会議室

第2回 11月 6日(金) 19:00～ 赤磐市役所 本庁 2階大会議室

第3回 11月14日(土) 14:00～ 中央図書館 多目的ホール

(いずれの回にも参加できない人(団体など)はご連絡ください。)

【説明内容(予定)】

1. 市民活動実践モデル事業の概要について
 - 1) 事業の仕組み(市民提案型・行政提案型)
 - 2) 対象となる市民グループ・市民活動団体などの要件
 - 3) 補助金の額・補助対象経費
2. 事業日程(応募から事業を実施するまでの流れ)について
3. 提案書類への記入(書き方)について

※事業説明会は、どなたでも参加できます。

※事業提案を予定されている、市民活動団体などの皆様は必ずご出席ください。

お問い合わせ：赤磐市 協働推進課 Tel:086-955-1745 e-mail:kyodo@city.akaiwa.lg.jp

主催：赤磐市 運営：サンサンあかいわ「まちつく～る」会

やっぱり 赤磐 いいところ

赤磐の魅力 再発見

参加費
無料！

まちづくりサロン「まちつく～る」に参加して

みんなで「いいね！」を語り合おう

とき 平成28年2月11日（木・祝）

13:00～16:00

ところ 赤坂健康管理センター 多目的ホール

募集定員：30人

※赤磐市に在住・在勤。

※託児が必要な場合はご相談ください。



まちづくりサロン「まちつく～る」とは・・・？

みんなが集まって【自分たちのまちづくり】について

“楽しく語り合う場”です。



サンサンあかいわ「まちつく～る」会とは、協働のまちづくり塾3期OB生が中心となって組織した団体です。赤磐市をもっと楽しく、元気にしようと活動しています。

参加希望の方は 平成28年2月8日（月）までに

赤磐市役所 市民生活部 協働推進課

TEL 086-955-1745

FAX 086-955-1353

へお申し込みください。

（※但し、土・日は除きます。）

住民の力で活性化を

体験基に意見交換

「わ」をテーマにした初の試み。住民代表らは、自らの体験を踏まえ「高齢者パワー活用を」買ひ物弱者をなくそう」などと提言、活発に意見交換した。

赤磐市協働のまちづくりフォーラム(市、市自治連合会主催)が3日、同市下市の中央公民館で開かれた。「チャレンジ! 私たちが参加してつくるあかい

赤磐市協働のまちづくりフォーラム



協働のまちづくりフォーラムで発言するパネリスト

相模女子大の松下啓一教授が基調講演。同市協働のまちづくりフォーラムを務める、桜が丘

西連合町内会の笹倉寛一会長、まちづくり夢百姓運営協議会の歳森正一会長、NPO法人県自閉症児を育てる会の鳥羽美智代表がパネリストとして参加した。友実武則市長も参加した。笹倉さんは、市の発展を願う仲間が集う活動拠点として2014年6月にオープンした「桜が丘プラザ」について紹介。「利用率向上に努め、まちづくりの発信基地にしたい」と意欲を見せた。歳森さんは、高齢化

松下啓一教授の「みんなで取り組む! わたしたちのまちづくり」と題した基調講演の要旨は次の通り。

松下教授基調講演要旨

「まち」には目に見えないもの(ハード)と見えないもの(ソフト)があるが、建物など外観だけでなく、安心や安全、思いやり、助け合い、誇るべき文化などがあるまちづくりが大切だ。歴史を振り返ると、協働は行政と市民が一緒に行動するという現行は明治維新、戦後の続き、「地方分権」



「住民主体のまちづくりを」と訴える松下教授

という第3の改革期を迎えている。少子高齢化が進む中、現状のままでは未来はなく、衰退する恐れが強い。時代の流れが、住民主体のまちづくりに変わっ

率48%の仁美地区で、車のないお年寄りが気軽に買い物ができる店「まちづくり夢百姓」を平均年齢70歳のスタッフで立ち上げた経緯を語り、「笑顔があふれ、みんなに喜んでもらえる店にしたい」と抱負を述べた。鳥羽さんは「ないものは(自分たちで)つくって」と18年前から頑張ってきたと話し、自閉症児が自立して暮らせるグループホーム建設計画があることに触れ、寄付などの協力を呼び掛けた。最後に、小川さんが「おはようのあいさつ、笑顔など小さな試みでまちは変わっていく。失敗を恐れず何事にもチャレンジしてほしい」と結んだ。会場を訪れた市民ら約200人はメモを取るなど熱心に聞き入り、パネリストの発言には大きな拍手を送っていた。(今井康人)

【交付対象事業名称】電話健康・医療相談事業

あかいわ健康・急病相談ダイヤル 利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
4月	—	155	
5月	—	188	
6月	—	183	
7月	—		
8月	—		
9月	—		
10月	59		
11月	95		
12月	196		
1月	216		
2月	165		
3月	148		
合計	879		

(参考)4月

4 / 1 ~ 4 / 15	89件	155件
4 / 16 ~ 4 / 30	66件	

※生徒、児童にPR用クリアファイル配布5000枚

(参考)5月

5 / 1 ~ 5 / 15	87件	188件
5 / 16 ~ 5 / 31	101件	

(参考)6月

6 / 1 ~ 6 / 15	76件	183件
6 / 16 ~ 6 / 30	107件	

(参考)7月

7 / 1 ~ 7 / 15		
7 / 16 ~ 7 / 31		

※ポスター配布

(参考)11月

11 / 1 ~ 11 / 15		
11 / 16 ~ 11 / 30		

(参考)12月

11 / 1 ~ 11 / 15		
11 / 16 ~ 11 / 30		

(参考)8月

8 / 1 ~ 8 / 15		
8 / 16 ~ 8 / 31		

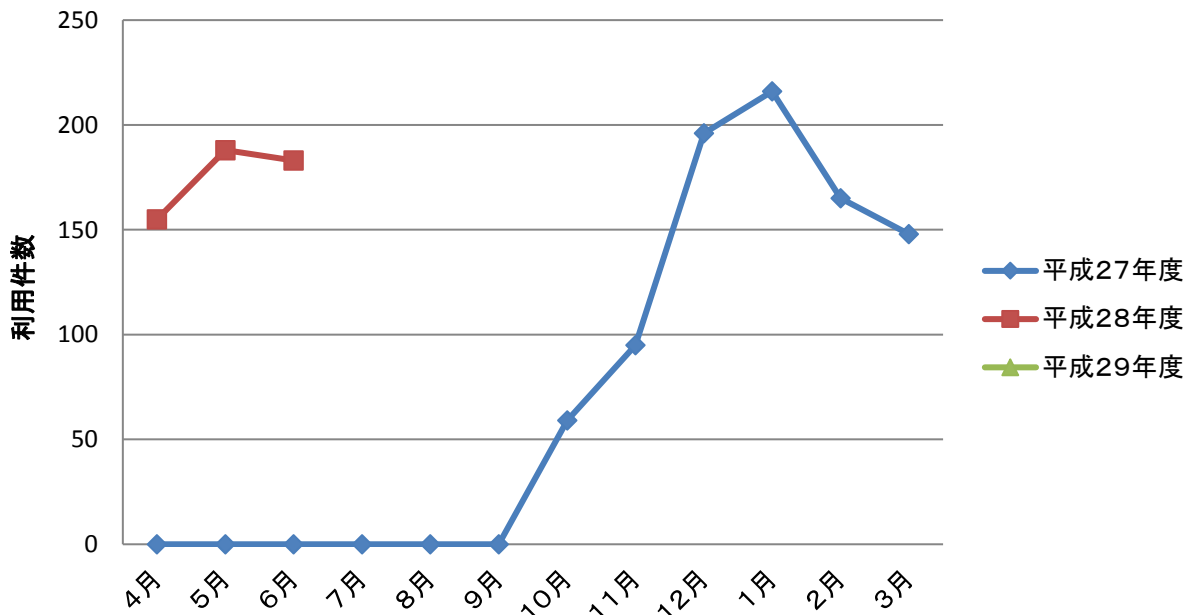
(参考)9月

9 / 1 ~ 9 / 15		
9 / 16 ~ 9 / 30		

(参考)10月

10 / 1 ~ 10 / 15		
10 / 16 ~ 10 / 31		

あかいわ健康・急病相談ダイヤル 利用件数



赤磐市民のための

「あかいわ健康・急病相談ダイヤル」

(24時間年中無休／通話料・相談料無料)

専用
ダイヤル

携帯・PHS通話可

聞いて
い い わ み よう よ
0120-118-384



夜間・休日の医療機関
のご案内



赤ちゃんが夜中に熱を
出した、どうしよう？



あかいわモモちゃん

手当てや応急処置を
教えてほしい



検診の結果(データ)に
ついて教えてほしい



【ご利用上の注意】

- 電話がつながりましたら、年齢・お名前をお教えてください。(匿名でもOKです。)
- 非通知設定の電話、公衆電話からの相談は受けることができませんので、ご注意ください。
- プライバシーは厳守されるシステムですので、安心してご相談ください。
- ご不明な点は、上記の専用ダイヤルまでお問合せください。



(委託事業者のコールセンターにてご相談をお受けします。)

お問い合わせ：赤磐市役所 健康増進課 TEL (086) 955-1117(直通)

看護師や保健師、医師などが、市民の皆様の健康相談にお応えします。

医療相談

- 病気の詳しい説明、治療、検査について
- 最新の治療
- 飲んでいる薬の副作用について
- 検査データについて
- 受診をしたらどんな検査をするのか
- 病気を持った人の家庭での過ごし方
- 応急処置 など

医療機関のご案内

- 何科を受診すべきか、受診の目安
- 夜間、休日の医療機関のご案内 など

妊娠・出産・育児相談

- マタニティーブルー、妊娠中の病気
- 妊娠中の食事、生活、運動
- お子さんの誤飲、転倒などの応急処置
- 授乳、離乳食、おやつについて
- 発達、成長について
- 予防接種 など

健康づくりに関する相談

- 健康保持、病気の予防のために、どのような食事をとるべきか
どのような運動をするべきか
- 生活環境、食品衛生について
- 予防接種
- 医師からの説明の受け方
- 人間ドック、禁煙ドック、脳ドック など



家庭看護・介護相談

- 寝具の調整
- 水分補給、食事の選び方
- 環境(湿度、換気、室温)
- 入浴、清拭、衣類交換
- 寝たきり老人の介護(床ずれ予防、排泄、食事など)
- どのような時に、再診すべきか
- 介護保険、高額医療、医療費控除 など



こんな時には迷わず
119番へ!!

- ▶ 意識がない、またはもうろうとしているとき
- ▶ 呼吸や脈が不規則または停止しているとき
- ▶ 多量の出血があるとき
- ▶ けいれんやひきつけが治まらないとき
- ▶ 激しい頭痛、胸痛、腹痛などの痛みがあるとき
- ▶ 明らかに重症と思われるとき など



「あかいわ健康・急病相談ダイヤル」

いいわ(聞いて)みようよ

0120-118-384

※24時間/年中無休 ※携帯電話、PHSでも利用できます



委託先 ティーベック(株)よりお知らせ：個人情報の取り扱いについて

●本サービスは、ティーベック(株)が業務委託を受けて運営しております。●ティーベック(株)は、本サービスの適切な実施のため、ご利用者より個人情報を取得する場合があります。(個人情報をお知らせいただけない場合は、当該サービスをご提供できない場合があります。●ティーベック(株)は、個人情報を上記の目的以外に使用しないことはもとより、ご利用者の同意を得ている場合、法令にもとづく場合、ご利用者本人または第三者の生命、身体または財産の保護のために必要があると当社が判断した場合を除き、取得した個人情報を第三者に提供いたしません。●ティーベック(株)は、ご利用者によりご満足いただくため、対応品質の向上を目的として、ご利用者の当社への相談内容等を書面、音声または電子的方法により記録させていただきます。●ご提供いただいた個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止のお手続きは、「〒110-0005 東京都台東区上野 5-6-10 ティーベック(株)個人情報相談窓口責任者(個人情報保護責任者代理)」までお問い合わせ下さい。●当該サービスをご利用いただいた場合は上記の内容をご理解の上、個人情報の取得および提供についてご同意いただいたものとさせていただきますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

【交付対象事業名称】学校・園経営支援事業

学校経営支援事業 各校目標及び評価一覧

	学校名	目標	自己評価	市教委評価
1	山陽小学校	自己肯定感を高め、主体的に活動するたくましい児童の育成	B	
2	山陽西小学校	学校の教育環境を整備し、児童の心の安定を図り、自主性を高め、児童のつまずきに応じた基礎学力の定着を図る。	A	
3	山陽東小学校	「学力保障」「成長保障」の柱に沿った学校教育の充実と学習環境の整備	B	
4	山陽北小学校	いきいきと学び、主体的に活動する学校行事や特別活動の充実を図ることで、自分に自信を持ち、自己有用感や自己肯定感を高める児童を育成する	A	
5	石相小学校	特別支援教育の視点に基づいた ICT の活用による授業改善を図り、児童の学習意欲の向上並びに学校、学級を自己のよき「居場所」となることを目指す	B	
6	軽部小学校	児童の調べ学習・読書活動への推進・学力向上のための図書の充実を図る	B	
7	笹岡小学校	豊かな心を持ち、生き生きと活動する笹岡の子どもを育成する	A	
8	豊田小学校	運動を通じて、苦しいことにくじけず、人に優しくできる強い心と健康な身体づくりをすることにより、たくましく生きる力を身に付けさせる	B	
9	磐梨小学校	学力向上および体力向上のための環境の充実	B	
10	桜が丘小学校	学力向上	B	
11	城南小学校	学習環境の改善・充実	B	
12	仁美小学校	将来の就労に向け、学習意欲を高め、自己肯定感を高める。自立への基本的な力を身につける	A	
13	高陽中学校	学区の小学校と連携して地域の学校支援活動の浸透をはかり、生徒の自己有用感を育成して、学力の向上を図る	B	
14	桜が丘中学校	学力向上、不登校支援	B	
15	赤坂中学校	落ち着いた学習環境を作り、学力の向上を図る	B	
16	磐梨中学校	授業改革、健康でたくましい体づくり	B	
17	吉井中学校	豊かな心をはぐくみ、望ましい学級・異年齢集団の育成を図るとともに、確かな学力を身につけさせ、家庭学習の習慣化を目指す	A	
	教育委員会総評	本事業は、赤磐市内の小・中学校において、各校の教育課題の解決や先進的な取組を支援する。		B

学校経営支援事業

通わせたい学校づくり推進費(学校自由裁量予算)を交付し特色ある学校づくりを推進し、取組の普及を図る。



平成27年度

平成28年度

4月
計画書の提出

4月
計画書の提出

5月
支援費交付
事業開始

5月
支援費交付
事業開始

3月
中間評価
(成果指標)

3月
最終評価
(成果指標)

交付申請額16,779,000円

初年度 総経費16,778,600円

【内訳】学校自由裁量予算総額14,999,800円

市内小中学校17校

(最小644,440円～最大1,222,200円の配分額)

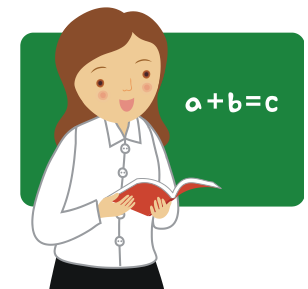
※基礎額(小中学校300,000円に傾斜配分)

検査委託料(Q-U検査 2回 小3～中3)

1,273,800円

消耗品費 505,000円

取組をホームページで公開



【交付対象事業名称】あかいわ移住・定住促進事業

「あかいわに戻ろう」プロジェクト

若者の地元定着及びU・I・Jターン促進のため本市の魅力的な情報を発信していくための体制づくり及び本市にゆかりのある方のネットワークを構築するための土台づくり等を行った。

(1) 本市出身者への情報発信体制の整備

①あかいわに戻ろうプロジェクト特設サイト「おかえりあかいわ」及びスマートフォンアプリケーションの構築

⇒ スマートフォンアプリケーションダウンロード数: 354(平成 28 年 7 月 15 日現在)

②企業間連携のための情報交換会開催: 約180名参加

⇒ 開催日時: 平成28年1月27日(水)

⇒ 開催場所: いきいき交流センター

③ホームページ及びアプリケーションPRチラシ: 5, 000枚配布

⇒ 主な配布先: ふるさと納税者ほか、県人会会員や各種イベントでの配布

(2) 本市にゆかりのある方のネットワーク構築のため、あかいわに戻ろうプロジェクト会員を募集

①会員登録募集チラシ: 2, 000枚配布

⇒ 主な配布先: ふるさと納税者ほか、各県人会会員や各種イベントでの配布

②あかいわに戻ろうプロジェクト会員

⇒ 登録総数: 44名(平成 28 年 7 月 15 日現在)

(3) 若者の地元定着のため高校生向け就職説明会を開催:約90名参加

⇒ 開催日時:平成28年3月16日(水)

⇒ 開催場所:山陽ふれあい公園

将来、地元で就職を

赤磐市 若者定住へ初イベント

将来、地元で就職する若者を増やそうと、赤磐市は16日、高校1、2年生に市内の企業や団体を知らせてもらう初のイベント「あかいわに響くプロジェクト 企業説明会」を、山陽ふれあい公園(同市長郷)で開催した。

高校生に企業を紹介



ブリスで仕事の内容などを説明する高校生

和歌山県、東岡山工業、瀬川町の3校から計約90人が参加。会場には市内の機械メーカーや製菓業者、社会福祉法人など13社、団体がブリスを設け、自社の製品やパンフレットを並べてPRした。

生徒たちは各ブリスを回り、企業経営者らに事業内容などを質問。「高精度で絶対の安全性が求められる鉄道車両の部品を作っています」「食の規律が厳しいイスラム教徒向けの商品を開発し、海外展開も視野に入れています」といった説明を受け、熱心にメモを

新聞で張り絵 活字アート



新聞紙を使った張り絵 作品展が、道の駅・黒絵「活字アート」に取 井山グリーンパーク 里組 美咲町館蔵の(瀬戸内市島久町市明) 大前美代子(さん)の ゆゆう交流館で

邑久・道の駅 美咲の大前さん作品展

新聞紙を手で製成、張り重ねて仕上げたもので、種やかな山嵐の風景、生き生きとしたヒマワリやタケノコ、大空を彩る花火といった情景や節句、日本の風物詩がモチーフ。遠目には水彩か油彩に見えるが、目を凝らすと文字が並び、記事を発見する楽しみもある。

干し草や粘土を使った作品を含め、約50点が並ぶ。

午前9時~午後5時(最終日は3時まで)。入場無料。問い合わせは交流館(0869900001)。

(大河原三恵)

取っていた。

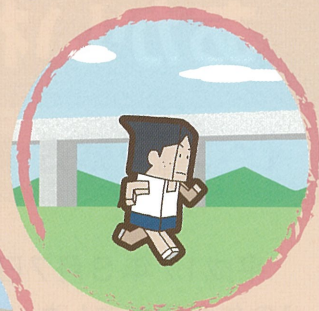
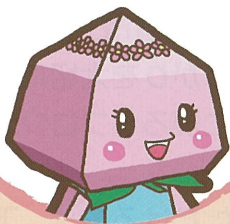
瀬戸内県庁を平田田(氏)49)「赤磐市」が社に出席し、若者の地元就職促進やリターン、インターンなどによる人口増を目指す市の「あかいわに響くプロジェクト」事業の一環として、今年、大手企業との場合で採用に貢献している地場企業も多いことから企画した。市は「若者が進学などで地元を離れても、将来は戻ってきて就職することを考えられるよう、今後もイベントを続けたい」としている。(伊東圭二)

タレントの横山三樹生(氏)49)「赤磐市」が社に出る心構えを説き、就職先を選ぶ基準として「知名度や事業規模ではなく、持続的な成長プランがある企業を探すことが大切」とアドバイスした。

就職支援講座もあり、人材教育コンサル



赤磐市



地元が面白くなってきた!!

おかえり

あかいわ

.com

知っているようで意外と知らない。知らないようで皆知っている。

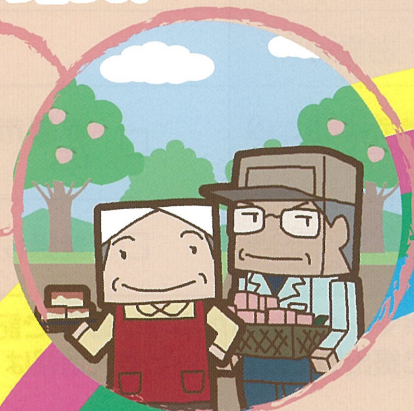
今この瞬間の赤磐をとことん赤裸々にレポートする、

赤磐情報発信サイト「おかえり あかいわ」。

「桃農家の日常が想像以上にピッチピチな件」

「フルーツ王国さんのワインがとんでもなくぶどうすぎる!」

調べてみたら見えてきた。うれし、なつかし、あかいわ暮らし。



「あかいわに戻ろうプロジェクト」by 赤磐市まち・ひと・しごと創生課

〒709-0898 岡山県赤磐市下市344

TEL 086-955-1220

FAX 086-955-1261

あかいわに戻ろうプロジェクト会員募集!

イベント・就活・婚活から日々の情報まで、赤磐の旬でお得な情報をお知らせします。

平成17年3月7日に、赤磐郡内の山陽町、赤坂町、熊山町及び吉井町が合併し「赤磐市」が誕生して10年が経ちました。赤磐市では今、ふるさと「赤磐市」を離れて暮らす皆様とのつながりを大切にするとともに、赤磐市にゆかりがある方々の交流の機会をもちたいとの想いから「あかいわに戻ろうプロジェクト」を進めています。

この取り組みにご賛同いただき、「あかいわに戻ろうプロジェクト」にご参加いただける方は、下記に必要事項を記入し、会員登録をお願いします。登録いただいた方にはメールマガジンや会報等で、随時赤磐の情報をお知らせいたします。

◆郵送、FAX、電子メール等、いずれの方法でもご登録いただけます。

郵送 申込書を下記までご郵送ください。

FAX 申込書を下記までFAXしてください。

電子メール メール本文に下記の必要事項をご記入の上、件名を「会員申込」として送信してください。

ホームページ <http://okaeri-akaiwa.com> (H28.4~)にアクセスして下さい。

申込書

(申込年月日：平成 年 月 日)

※フリガナ		※生まれた年	・大正 ・昭和 ・平成	年 月 日
※お名前				年 ま れ
※電話番号		※性別	男	・ 女
※ご住所	〒			
メールアドレス				
お勤め先				
※赤磐市との つながり	<input type="checkbox"/> 赤磐市出身 (旧 町)	<input type="checkbox"/> 赤磐市を訪れた ことがある	<input type="checkbox"/> 赤磐市に 興味がある	<input type="checkbox"/> その他 ()
※会報やお知らせ について	<input type="checkbox"/> 登録したメールアドレス	<input type="checkbox"/> 郵送希望		

※マークの付いた事項は必ずご記入ください。

ご提出いただきました個人情報は「あかいわに戻ろうプロジェクト」に関する業務や連絡以外に使用いたしません。

【問い合わせ先・提出先】

赤磐市役所まち・ひと・しごと創生課

〒709-0898 岡山県赤磐市下市 344番地

☎ 086-955-1220 ☎ FAX:086-955-1261 ✉ sousei@city.akaiwa.lg.jp



おかえり
あかいわ

okaeri-akaiwa.com おかえり あかいわ 検索

「あかいわに戻ろうプロジェクト」by 赤磐市まち・ひと・しごと創生課

〒709-0898 岡山県赤磐市下市344 TEL 086-955-1220 FAX 086-955-1261

赤磐市

地元が面白くなってきた!!

おかえり
あかいわ.com

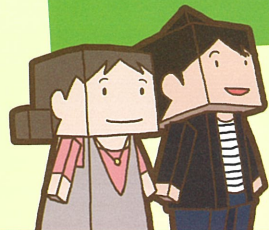
知っているようで意外と知らない。知らないようで皆知っている。
今この瞬間の赤磐をとことん赤裸々にレポートする、
赤磐情報発信サイト「おかえり あかいわ」。

「桃農家の日常が想像以上にピッチピチな件」
「フルーツ王国産のワインがとんでもなくぶどうすぎる!!」

調べてみたら見えてきた。うれし、なつかし、あかいわ暮らし。

地元が面白くなってきた!!

うれし、なつかし、あかいわぐらし
「おかえりあかいわ」ホームページOPEN!!



赤磐市のオモシロ記事を随時更新!!

パソコンで!

チェックしてね!



スマートフォンで!



下心をこじらせて好きでもないワインを
勉強しに来たら色々ありすぎた!

「ワインが好きな僕の好きな人」



「私、ワインが好きなの」この言葉を聞いた翌朝、早速ワインを探す旅に出た僕は、コネを使って赤磐市の「是里ワイナリー」に。そこで出会ったワイン、食材、そして人々。僕の、ワインを巡る冒険が始まった。

▶つづきはWEBで!

ウサギって美味しいんですか?
童謡「ふるさと」を完全再現!

「忘れがたきふるさと」



古くから唄い継がれ、今も日本人の心に深く刻まれる童謡「ふるさと」。世知辛い都会の大人社会で、自分のふるさとを心の支えに頑張る人も多いだろう。でも、東京生まれ東京育ちの僕にはふるさとが無い! 誰か僕のふるさと作りに協力して!

▶つづきはWEBで!

過酷な体験を覚悟していたら
拍子抜けにもほどがあった?!

「あま〜い! 桃農園顛末記」



菅原〇太ばりの頑固親父に厳しく指導されることを覚悟して、日本有数の桃畑が市内に広がる赤磐市に桃農家体験にやってきた男が見たものは、まさに桃のごとく甘く豊かな、若き農園家のシーズンオフだった。

▶つづきはWEBで!

おかえりあかいわ
アプリもOPEN!!

アプリでも記事を読むことができます!!
こちらからアプリストアで
ダウンロードしてください。(無料)
<http://okaeri-akaiwa.com/app/>

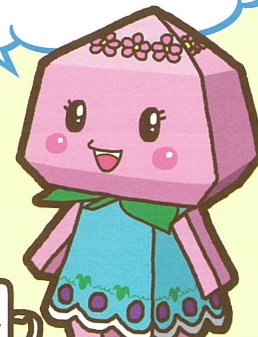


赤磐市の最新情報が欲しい方は、
今すぐメルマガや会報誌の登録を!!

右のQRコードを読み込み、
「おかえりあかいわ」のサイトより
会員登録をしてください。(無料)
<http://okaeri-akaiwa.com/member/>



あかいわに戻ろう
プロジェクト会員を
募集しています!!



**【交付対象事業名称】クラウドソーシングによる
新しい働き方定着プロジェクト**

赤磐市クラウドソーシングによる新しい働き方定着事業 参加者実績

	12月6日熊山会場		12月6日桜が丘会場		12月12日赤坂会場		12月12日吉井会場		認知セミナー計			1月9日体験講座(1)		1月10日体験講座(2)		体験講座計			ステップアップ講座計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
20歳代	1	2	1	6	0	2	0	2	2	12	14	1	2		1	1	3	4			
30歳代	1	5	1	7	1	7	0	4	3	23	26	2	8	1	4	3	12	15			
40歳代	1	6	2	10	1	9	1	2	5	27	32	1	7	1	5	2	12	14			
50歳代	1	2	3	6	2	4	1		7	12	19	4	4	3	1	7	5	12			
60歳代	2	1	5	5	3	3	1	1	11	10	21	3	3	2	2	5	5	10			
70歳代～	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1			
不明	0	1	1	3	1	1	0	0	2	5	7	0	0	1	1	1	1	2	6	19	25
小計	7	17	14	37	8	26	3	9	32	89	121	11	24	8	15	19	39	58	6	19	25
会場計	24		51		34		12		121			35		23		58			25		

赤磐市 クラウドソーシングによる新しい働き方定着事業

参加者特典を
ご用意!



赤磐市公式キャラクタ
あかいわももちや

クラウドソーシング 認知セミナー&体験講座開催



自宅で働きたいあなたを応援します。
新しい働き方である「クラウドソーシング」について理解を深めよう。

自分らしい働き方
クラウドソーシングについて
もっと知ってみませんか?

4会場のうち
いずれか1会場に
参加ください

どなたでも参加可能

認知セミナー

1会場1時間30分

2会場のうち
どちらか1会場に
参加ください

認知セミナー参加者

体験講座

1会場 午前3時間・午後3時間

12/6
日曜日

or

12/12
土曜日

1 10:00-11:30
くまやまふれあいセンター 40名

2 14:00-15:30
桜が丘いきいき交流センター 60名

3 10:00-11:30
赤坂健康管理センター 30名

4 14:00-15:30
吉井会館 30名

1/9
土曜日

or

1/10
日曜日

9:00-16:00
桜が丘いきいき交流センター
各会場 20名

参加者特典

セミナーや講義の中でお伝えした内容をご自宅からも視聴できるようにeラーニングを提供いたします。
認知セミナーや体験講座でお伝えする内容を繰り返し確認することが可能です。

希望される方には事業運営企業より
優先的にクラウドソーシング業務をご案内させていただきます。

お電話、メール、ウェブからお申込みをお受けしております。

☎ 03-6863-6668 受付時間 10:00-19:00 / 定休日 土・日・祝日

✉ guide@uluru.jp   お申込みフォームはこちら▶▶▶

運営事務局 〒104-0053 東京都中央区晴海3-12-1 KDX晴海ビル9F 株式会社うるる



お申込み
方法

クラウドソーシングとは

在宅でインターネットを活用して実施できるお仕事です。
パソコンやスマートフォンを使って空いている時間に
お仕事ができます。今の収入に+α!

赤磐市 クラウドソーシングによる新しい働き方定着事業

クラウドソーシング 認知セミナー&体験講座開催概要

参加費

無料

お得な
特典付



どなたでも参加可能

認知セミナー

クラウドソーシングという働き方について理解を深めていただくために、クラウドソーシングの歴史や普及に至る背景から、流通する業務の種類、業務の進め方、業務を行う上で必要なスキル、各クラウドソーシングサイトの特色についてお伝えさせていただきます。

🕒 日程(4会場のうちいずれか1会場に参加ください)

開催日	No.	時間	会場	定員
12月6日(日)	1	10:00~11:30	くまやまふれあいセンター	40名
	2	14:00~15:30	桜が丘いきいき交流センター	60名
12月12日(土)	3	10:00~11:30	赤坂健康管理センター	30名
	4	14:00~15:30	吉井会館	30名

📅 予定プログラム(1時間30分)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 01.クラウドソーシングというワークスタイル | 06.クラウドソーシングを行うためのセキュリティ |
| 02.クラウドソーシングの業務の種類 | 07.クラウドソーシングの業務の流れ |
| 03.クラウドソーシングのメリットデメリット | 08.クラウドソーシングサイトの活用方法 |
| 04.クラウドソーシングと業務委託契約 | 09.クラウドソーシングで確立するキャリアプラン |
| 05.クラウドソーシングに必要な自己管理能力 | |

※本事業に参加するにあたり、参加費用等はかかりません。
※駐車場には限りがございます。参加にはできるだけ公共交通手段をご活用下さい。
※セミナー会場までの交通費はご負担ください。

認知セミナー参加者

体験講座

実際にパソコンを使って特別なスキルが必要なく取り組むことができるクラウドソーシングのうち、より多く発注される業務を実際に体験していただきます。講座終了後にすぐにクラウドソーシングに取り組むことができるよう、主要サイトへの会員登録までをサポートいたします。(講座で利用するパソコンは貸出しいたします。)

🕒 日程(2会場のうちどちらか1会場に参加ください)

開催日	No.	時間	会場	定員
1月9日(土)	1	9:00~16:00	桜が丘いきいき交流センター	20名
1月10日(日)	2	9:00~16:00	桜が丘いきいき交流センター	20名

📅 予定プログラム(1会場 午前3時間+休憩+午後3時間)

- | | | | |
|----|-----------------|----|------------------|
| 午前 | 01.主要サイトの特色 | 午後 | 05.各種データ入力業務について |
| | 02.主要サイトへの登録 | | 06.各種データ入力業務の体験 |
| | 03.ライティング業務について | | 07.流通の多い業務の紹介 |
| | 04.ライティング業務の体験 | | 08.まとめ |

※eラーニングを視聴するための通信費はご負担ください。
※セミナープログラムは予告なく変更となる場合もございます、ご了承ください。

📄 お申し込み方法

📞 お電話、メール、ウェブからお申し込みをお受けしております。

🕒 お電話受付時間 10:00-19:00 / 定休日 土・日・祝日

☎️ 03-6863-6668 ✉️ guide@uluru.jp 📄 お申し込みフォームはこちら▶▶▶



🏢 運営事務局 株式会社うるる

〒104-0053 東京都中央区晴海3-12-1 KDX晴海ビル9F

赤磐市の委託を受けて、
会員25万人のクラウドソーシングサイト「Shufti(シュフティ)」
を運営する株式会社うるるが主体となって事業を実施します。

ネット活用して収入を

赤磐で「クラウドソーシング」説明会

高い関心 市民120人参加

赤磐市が今月開いた井地域の4会場で説明会を実施。予定定員を超過して在宅で企業の業務を受託し収入を得る「クラウドソーシング」の説明会に、予想を上回る市民120人が参加し、関心の高さを示した。

市は6、12の両日、熊山、山陽、赤坂、吉



赤磐市が開いたクラウドソーシングの説明会＝12日、赤坂健康管理センター

登録し、国内で最も早くからクラウドソーシングサイトを運営する

説明会で市が実施したアンケート調査では、「介護や子育てで外出できない主婦でも仕事ができる」「自宅で収入が得られるようしっかり勉強したい」「自由度がある反面、仕事には責任を持ちたい

「うるる」(東京)の担当者が参加。企業が受託したデータ入力や文書作成の仕事をほ

び込み参加も多く、急ぎ、机と椅子を増やさまざまな業務があることを分かりやすく説明した。

税金や福祉、医療情報

「暮らし便利帳」発行へ

吉備中央町 民間業者と協定

吉備中央町は15日、町の行政サービスや公共施設、医療機関、観光名所などの情報を盛り込んだ町民向けの冊子「暮らしの便利帳」を共同発行する協定を大阪市の民間業者と結んだ。冊子はA4判フルカラーで64ページ程度となる計画。税金や福祉、ごみ収集などの情報のほか、医療機関の連絡先、

障害者の絵 年賀状に

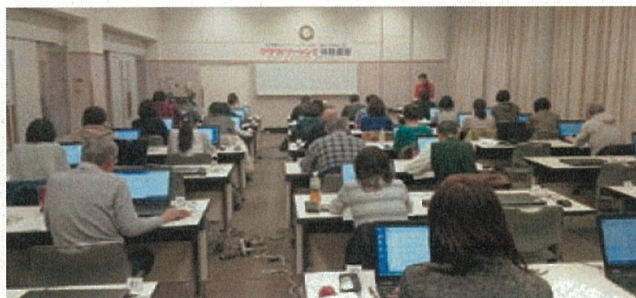


瀬戸内

障害者の支援官民組織

「い」などの声が寄せられたという。

平成27年12月18日 山陽新聞



自宅でできるパソコンを使った新しい働き方を体験 クラウドソーシング定着事業

移住・定住促進、子育て支援などを目的に開催した「新しい働き方定着事業」は、12月に市内4会場で、クラウドソーシングという働き方を知っていただくセミナーを開催。さらに1月には実際にパソコンをさわって入力作業をしてみる体験講座を開催し、定員を上回る参加申し込みがありました。

参加者の皆さんは熱心に受講し、いろいろな仕事を紹介されているクラウドソーシングサイトから、自分に出来そうな仕事を見つけ、一定の収入を目指して仕事に挑戦してみようと意欲的でした。

【交付対象事業名称】民間活力による多機能な地域支えあいプロジェクト

平成28年度 赤磐市高齢者買い物支援・見守り事業

○登録者数

	熊山地域	吉井地域
4月	13人	3人
5月	8人	41人
6月	3人	15人
小計	24人	59人

○見守り件数

	熊山地域	吉井地域
4月	65件	0件
5月	134件	44件
6月	142件	139件
小計	341件	183件

赤磐市

移動販売車を無償貸与

過疎地域の住民2団体に

赤磐市は25日、住民グループに移動販売車を無償で貸与し、高齢者の見守りと買い物支援の担い手になってもらうモラル事業を始めた。過疎化が進み、民間企業では対応が難しい地域をカバーする。市によると、県内では珍しい試みという。

(伊東圭一)

買い物支援事業開始

事業の担い手となるのは、住「り夢百笑」の2グループ。市民有志が農産物販売や配食サービス、冷蔵庫や商品陳列棚を取り付けたり付けた軽トラックを1台ずつ貸与し、訪問件数に応じた



市役所であった移動販売車(左端と後方)の引き渡し式

見守りの委託料を支払う。事業期間は2年間。ふれあい市場は市東部の熊山地区、夢百笑は北部の吉井地区を担当。利用登録した65歳以上の高齢者世帯を対象に、定期的に訪問して安否確認や困りごと相談に応じ、食品や生活用品を販売する。当面は訪問エリアを熊山地区内の小野田、吉井地区内の仁美に絞って行い、様子をみて拡大する方針。

人口が比較的多い市南部では民間企業による移動販売も行われているが、人口の少ない地域は採算が厳しく販売ルートに組み込んでもらえないことから企画。車両購入費など800万円は国の地方創生先行型交付金を活用した。

25日、市役所で販売車の引き渡し式があり、友美武則市長が「地元で精進する団体の協力が得られ心強い。生活を支える力になってほしい」と激励し、両団体のスタッフにキーを手渡した。ふれあい市場の森本良一代表と、夢百笑の歳森正一会長は「地域で孤立する高齢者をなくすため販売車を活用したい」と話していた。

高齢者 地域で見守りを